

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月29日

事業所名 サポートセンターわくわく

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		・部屋の活用方法を工夫して、障害特性に合わせ分散支援を行っている。 ・トイレ内にカーテンを設置し、プライベートゾーンをより確保できるようになった。	・今後は子どもたちの特性やニーズに合わせ、活動する部屋を分けて対応していく。 ・より子どもたちが、安心して過ごせる空間づくりができるよう工夫していきたい。
	2	職員の配置数は適切である	4	3		・事務局からのヘルプがある。	・どの職員でも対応できるよう支援の共有を行っていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		・スロープがあり、段差は少ない。 ・また、トイレの鏡が車椅子に合わせて、斜め下からも見やすくなっている。	・スロープが狭い。 ・ドアの開き方が外びらきのため、出入りの時移動しづらさがある。 ・玄関の靴の置き場所など踏まえ、玄関の環境整備に努めていきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	3		・毎日、振り返りで職員全員で情報共有している。 ・振り返りを書面化しているので、休みの職員とも情報を共有出来るようにしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	1	・保護者の要望を出来るかぎり行えるように努めている。 ・保護者からアンケートを実施して把握しており、業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	3	・経営コンサルタントに入ってもらっているが、業務改善までには現状として繋がっていない。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・定期的に法人研修や部署内研修において講師を招いて、勉強会を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・保護者から情報をもらいながら、その子のアセスメントをとって、職員全員で情報共有・支援を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4	1	・えいびる等を活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3		・職員の意見を取り入れながら係が月間の活動予定表を作成している。	・係が中心で活動案を作成しているため、今後は職員会議などで、活動プログラムの振り返りと提案をみんなの意見を取り入れながら活動案を作っていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2		・季節の行事や制作など取り入れ、プログラムも固定化せぬよう職員の意見など取り入れながら、新しい活動にも取り組んでいる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2		・朝のミーティングをにて、一日の流れを職員間で確認している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2	1	・サービス等利用計画に沿って、個別支援計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		・朝のミーティングでリーダーを中心として、今日の支援について、担当、トイレ介助等決めて、子供たちが安心、安全に支援できるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		・その日、休みの職員がいても振り返りシートに記載する事で前日に何があったのかわかるようにし、情報を共有している。	・勤務時間が変わり、当日で職員間での振り返りをする事が難しくなっているので、記録にきちんと残して、情報共有するようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		・業務終了後、担当になった職員が記録をとり、支援の検証・改善につなげている。 ・記録のページに個別支援計画も一緒に綴り、常に確認できるようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	3			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	3	1		
関係機 関や保 護者 との連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			・主に児童発達支援管理責任者が参加。職員と情報共有をしながら会議資料の作成を行っている。 ・定期的に参加して、情報を集め、職員間で情報を共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	4		・学校や保護者と下校時間の変更の情報共有を行なうようにしている。変更の連絡があった時は、カレンダーに記載して不備がないようにしている。 ・学校から時間変更等の連絡が手紙で来る事やアプリのスクリーンを使用し情報共有している。	・保護者から教えて頂く事が多い。アプリなども使用して学校と情報共有しているが、こちらの確認不足などもあり漏れもある為、普段から口頭での確認も踏まえ、密にコミュニケーションをとっていけるようにしていきたい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3	3	・医療的ケア児の受入体制が整っていない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3		・移行会議で事前に情報収集し、職員間で情報を共有している。 ・アセスメント情報を共有して、他の事業所と確認している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7			・卒業する利用者には、次の移行先に情報共有している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	3		

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への 説明責任等	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの子とも活動する機会がある	3	3	1	・午前中は児童館や公園で地域の子ともたちと関わる事がある。 ・児童館のイベントに参加する事がある。	・普段より地域の公園や児童館のイベントなどに積極的に参加し、地域の子ともたちと交流する場を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			・活動の様子や体調面などを保護者に申し送りしている。 ・課題や要望等あれば、職員間で話し合い、改善・取り組んでいる。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4	1	・別事業所でペアレント・トレーニングを行っているので、案内できる時には保護者へ文書を渡している。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			・契約時に紙面で確認しながら行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3		・悩みの相談があった場合、相談員も交えて会議を行う事もある。 ・相談がある場合は、まずは上司、所長代理に相談し、必要があれば相談員に伝え意見を求める。	・個人で相談を受け止められなかった時は、上司に報告し、上司が状況を見ながら相談員に報告する。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		6		・これまで保護者会などの開催が出来ていなかった。来年度は保護者の方のニーズも伺いながら、保護者の方同士で、一緒に話や相談ができるような機会を作っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		・苦情があった際には、上司にすぐ報告し、どのように対応していくか職員間で話し合い、丁寧に対応行うようにしている。	・対応が遅くなってしまったり、職員間の認識の不一致などもあり、保護者の方へ不快な気持ちにさせてしまう事があった。普段からしっかりとコミュニケーションを図り、保護者の方の想いに気づけるようにしていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	4			・定期的な発行が出来ていないため、定期的に活動の様子など写真を踏まえ報告できるようにしていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	7			・利用者の個人情報は、職員間で共有して、外部に漏れることがないように努めている。 ・SNSに活動内容をアップする際には、事前に説明し、同意を得ている。	
36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7					
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	3			
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4				

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			・年に3回の実施訓練と1回の机上訓練を行っている。近隣住人にも事前に訓練を行う旨、説明している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			・外部研修があれば、できるだけ参加できるようにしている。	・年に1～2回、虐待防止リーフレットの読み合わせを行なっている。また、法人研修で事例検討を取り入れている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1		・保護者からアレルギーに関する指示書をもらっている。それをもとに、職員間で情報共有して、おやつ成分表示をチェックして提供している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・ヒヤリハット、事故があった場合は、すぐに上司へ報告、職員へ口頭で報告。報告書をまとめて提出している。 ・いつでもヒヤリハット報告書が見れるように、ファイルに閉じて、事業所で見れるようになっている。	